

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2020-3010-2	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	TMM計画参加者のうち、ベースライン調査時に岩手県在住の約1万人のジェノタイプデータ、ベースラインコホートデータ(特に基本情報、罹患歴、検体検査情報、生理機能情報、特定健診情報)、追跡調査データ(特に死因別死亡、がん罹患)	
主たる研究機関	名古屋市立大学			分担 研究機関	岩手医科大学 いわて東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	心理社会的形質に焦点を当てたゲノムコホート研究 (Genome Cohort focusing on Psychosocial Traits Study: GCOP Study)				研究期間	医学部倫理委員会承認日 ~2026年3月31日
実施責任者	鈴木 貞夫	所属	名古屋市立大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野		職位	教授
研究目的と意義	心理社会的形質は寿命や自殺、がん罹患に影響を与えることが繰り返し示されているが、いまだそのエビデンスは確立しておらず、生命予後の改善や、がん・自殺予防に関する介入効果については知見が限られている。さらに、心理社会的形質は身体形質と同等か、場合によっては身体形質より高い遺伝要因の関与が双生児研究により確認されている。したがって、本研究では、①各種心理社会的形質を規定する遺伝要因を特定し、その機能を解明することと、②各種心理社会的要因および遺伝要因が本研究アウトカムである寿命と自殺、がん罹患に及ぼす影響を前向きな追跡調査により確認する。またその際には、両者の交互作用についても検討する。					
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク(TMM)計画 参加者のうち、2013年度にリクルートした久慈地域(岩手沿岸県北)と大船渡地域(沿岸県南)居住者を対象に、自記式調査票を配布する。自記式調査票は、名古屋市立大学が作成したGenome Cohort on Psychosocial Traits(GCOP)質問調査書を用いる。回収された調査票の匿名化を行った後、TMM計画において取得済みのジェノタイプデータ・コホートデータを利用した関連解析を行い、心理社会的形質を規定する遺伝要因を特定する。また、TMM計画によって収集されたがん罹患や死因を含む追跡調査データを利用して、心理社会的形質ががん罹患や死亡・死因に与える影響を調べる。解析結果は個人ごとの情報を含まない統計情報として名古屋市立大に共有され、名古屋市立大側で得た結果と合わせて解析される。					
期待される成果	本共同研究を進めることにより、心理社会的形質を規定する遺伝要因を解明できるだけではなく、心理社会的形質ががん罹患や死亡・死因に与える影響についても、包括的な評価が可能になる。					
これまでの倫理 審査等の経過	・岩手医科大学医学部 倫理審査委員会承認(令和4年12月12日) 実施許可日:2022年12月19日					
倫理面、セキュリ ティ面への配慮	岩手医科大学のセキュリティポリシーを順守する。機微性の高い個人識別符号(個人の配列情報など)は東北大学東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータまたはセキュリティ管理可能な外部記憶装置内で他の情報端末と物理的に遮断された状態で保管される。					
その他特記事項	本研究は科学研究費助成事業(基盤研究(B)、基盤研究(C))、本庄国際奨学財団研究助成金により実施されます。本研究課題に関連し、研究代表者および研究分担者は関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益は得ておらず、開示すべき利益相反はありません。					
(事務局使用欄) * 公開日 令和4年12月20日  * 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)						